

酸化脂質の検出・制御

～新規細胞死をターゲットとした創薬展開～

日時:2019年12月4日(水)13:00～15:15 (個別相談15:30～17:00)

会場:日本橋ライフサイエンスビル 9階 913会議 (東京都中央区日本橋本町2-3-11)

プログラム

13:00～13:45

「酸化脂質をターゲットとした化合物スクリーニングと疾患モデルへの応用」

山田 健一 (薬学研究院 生命物理化学講座 教授)

13:45～14:30

「定量リポドーム分析法の開発と医学応用」

和泉 自泰 (生体防御医学研究所 附属トランスオミクス医学研究センター
メタボロミクス分野 准教授)

14:30～15:15

「フェロトーシスを機軸とした薬剤性心筋症の病態解明および治療の開発」

井手 友美 (医学研究院 循環器内科学 准教授)

15:30～17:00

個別相談

講師プロフィール



山田 健一 (Ken-ichi Yamada)

平成6年3月九州大学薬学部を卒業後、平成11年3月に磁気共鳴法を用いた可視化技術に関する研究で学位(博士・薬学)を取得。平成11年より米国NIH・NCIに留学し癌組織における酸素濃度の可視化技術開発について研究に従事。平成14年に帰国後、平成28年4月より現職。平成25年より酸化脂質に関する検出技術および酸化脂質が誘発する疾患の病態解明と治療法の開発(JSTさきがけ、AMED-CREST)に取り組んでいる。



和泉 自泰 (Yoshihiro Izumi)

平成22年3月大阪大学大学院工学研究科にて高感度代謝物分析法に関する研究で学位(博士・工学)を取得し、平成23年より神戸大学大学院工学研究科にて微細藻類のメタボロミクス研究、同医学研究科にて疾患バイオマーカー探索研究に従事した。平成25年からは、大阪大学工学研究科にて、株式会社島津製作所と連携しながら超臨界流体抽出・クロマトグラフィーシステムの開発に世界で初めて成功し製品化した。平成27年4月から九州大学生体防御医学研究所メタボロミクス分野にて、1細胞メタボローム解析を含む次世代メタボロミクスに向けた技術開発を行いながら、疾患と代謝に関する基礎研究および疾患バイオマーカー探索研究などを精力的に展開している。



井手 友美 (Tomomi Ide)

平成7年3月に九州大学医学部卒業し九州大学循環器内科学とその関連施設で、内科および循環器専門医としての研鑽を積む。平成9年より、同研究室にて心不全における酸化ストレスの役割について基礎研究を始める。平成13年米国ペンシルバニア大学薬学部Center for Experimental Therapeuticsに留学し、Garret A. FitzGerald先生のもと、脂質過酸化物の核内受容体に関する研究に従事。平成16年より九州大学に戻り研究を継続、臨床研究、基礎研究ともに、心不全、心筋リモデリングにおける病態解明と治療法の開発に取り組んでいる。

【申込先】 : 九州大学日本橋サテライト 電話 : 080-3362-5427 E-mail : n-satellite@airimaq.kyushu-u.ac.jp

【申込方法】 : 電子メールでお申込ください

件名を「第6回九州大学日本橋サテライトセミナー申込」とし、本文中に企業名、部署、役職、氏名、電話番号、メールアドレス、個別相談の希望の有無(※希望の場合、講師名と相談内容)を明記ください。